



新しい事例検討法「PCAGIP法」を体験する

「PCAGIP法」は当初、学校現場での活用を目的に開発された、新しい事例検討法です。事例検討と聞くと、発表資料の作成に時間がかかる、批判されてしまうなどと、気が重くなってしまう方もいるでしょう。PCAGIP法では安全な雰囲気の中で、簡単な資料をもとにメンバー全員の知恵と力を活かしながら理解を深め、発表者が元気になるような場を目指します。

この研修会では、不登校やいじめなど、学校現場ならではの事例について検討するPCAGIP法を体験します。学校現場で困っていることについて相談してみたい先生や、事例検討の方法を学んでみたい教育相談係の先生、その他関心を持たれた方など、ふるってご参加ください。

記

日時	2013年8月2日（金）13:30-17:30
場所	山口大学教育学部41番教室
講師	<small>おしえ たかし</small> 押江 隆（山口大学教育学部・臨床心理士）
対象	小学校・中学校・高校などの学校教員
参加費	500円（お茶菓子代）
定員	12～13名程度（先着順）
申込方法	電子メールにて受付致します。以下の必要事項を明記の上 chiikirinsho@gmail.com までお送りください。



申込必要事項

お名前（ふりがな）：

ご所属：

ご連絡先（e-mail）：

主催 地域臨床研究会（代表：山口大学教育学部講師 押江隆）

後援 山口大学教育学部教育心理学コース

山口大学教育学研究科附属臨床心理センター